

# 日テレ通り 高さ制限緩和に賛否

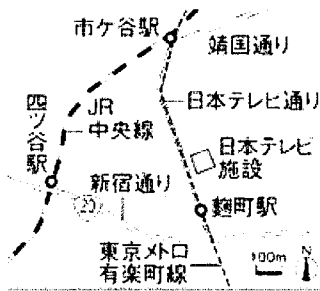
## 反対

### 環境・まちの一体感破壊を懸念

都心の住宅街、千代田区番町地区の再開発が持ち上がり、建物の高さ制限について議論になっている。新たなまちづくり案の検討過程で現行の2・5倍の高さまで認める案が一時浮上するなどし、住民の一部から反発が出ている。区などは「具体的な高さは未定」としつつ、「広場などの確保には高さ制限の緩和が必要」として検討を進めたい考えだ。

## 再開発へ 千代田区など検討

議論が起きているのは、区計画では「落ち着いた街並みと良好な住環境の維持・保全を図る」などとして高さ制限を最大60メートルとした。地元町会長らは16年、沿道一帯のまちづくりについて検討を始めた。ある町会長は取材に対し、「地区の人口が増え、車椅子も通れるように歩道を広げたり、交流広場を設けたりする新たなまちづくりが必要と考えた。日テレも所有地の再開発を検討しており、地元の意向をくんだ再開発にしてみようという。まちづくり案の検討が必要だった」と話す。



市ヶ谷駅 三軒谷通り 日本テレビ通り 日本テレビ施設 麹町駅 四軒谷駅 JR中央線 新宿通り 外町線 東有楽町線



番町地区を通る日本テレビ通り＝千代田区

町会長らは今年1月までに案をまとめ、高さを最大150メートルまで認める考えを盛り込んだ。歩道の拡張や広場などを確保する代わりに、より高いビルを認めるものだ。ただその後、日テレや区なども加わって検討を引き継いだ協議会が7月

こうした動きに対し、地元住民ら461人が6月以降、「環境を大きく損ねる」「まちの一体感の破壊につながる」などとして区議会に見直しを陳情。議会では「日テレが（高層ビルを）造るために（他の区で例のある）規制緩和をまねして良いのか」とも指摘された。日テレ所有地と中学・高校が隣接する学校法人女子学院も7月、「近隣コミュニティを異質なものに変化させると思われ、賛同しない」とする意見書を協議会に出した。

日テレは13年に商業ビル建設などの再開発方針を公表しており、今年7月にはその案を示した。同社広報部は取材に対し、「地域の皆様と一緒に良い街づくりの検討を進めている。地元から要望されている駅のバリアフリー化、コミュニティ広場などの課題解決を前提に、現在検討を進めている」などと答えた。ただ、ビルの高さは明示しておらず、担当者は「広場の面積などとおわせて検討する」とした。（岡雄一郎）

## 容認

### 人口増加 広場など確保に必要

朝日新聞社に無断で転載することを禁じる

承諾番号 18-4227